

しきん

平成28年3月22日
京都市立第四錦林小学校
校長 綿越 貴久
特別号

—グローバル化時代によりよく生きるために、自ら考え行動する子を育てる—

平成27年度 後期 学校評価 まとめ

◎「学校教育目標」に迫るための3つの「めざす子ども像」のそれぞれの視点を中心に設問を設けています。

◎各コメントの項目は、「子どものふりかえり」の質問項目を中心と書いています。

特に前期と比べて変化の大きかったところや気になるところを中心に書きました。来年度の取組に活かしていきます。



勉強する子

① チャイムを授業の場所で聞いている。

予鈴のかわりとして「シング」の曲を流し、チャイムが鳴る時には教室にいて、すぐに授業ができるように取り組んでいます。前期に比べ、「よくできている」の比率が少し減っています。「チャイムとともに授業を始めている」の教職員の回答も前期よりも少し悪くなっています。以前は「シング」がかかるとすぐに教室に向かっていた子どもたちが多かったのですが、曲の途中あたりから動き出す子もいます。授業時間をしっかりと確保するために、今一度、子どもたちの意識を変えるよう指導していきます。

④ 授業中のグループの話し合いで、たくさん発言している

全体としては9割近くの子どもたちが、よくできている・大体できていると答えていますが、前回よりも少し、あまりできていない・できていないと答えている子どもたちが増えています。教師もよくできているとう比率が減り、大体できているとう比率が増えています。みんなの前で自分の意見が言えることは大切なことで、そのための前段階として二人組の話し合い、グループでの話し合いの機会を多くもつようにしています。これからも、より多くの子どもたちが、より多く発言できるために、よりよい学級の雰囲気をつくったり、よりよい話し合いのテーマを設定したりして取組を進めていきたいと思います。

⑤ 朝学習では10分間しっかり読書に取り組んでいる

家庭ではなかなか読書の時間が取れていないようです。家庭でテレビやゲームに費やす時間

とも関係していると思います。朝学習では一生懸命、読書に取り組んでいる姿がみられましたが、まだ少しではありますが、でききれない子どもたちもいるようです。学校では、「めざせ100冊！」の取組をしています。読書冊数が100冊をこえてほしいのですが、冊数を増やすことだけを目的とせず、読書そのものの楽しさを味わってほしいものです。また、本が自分の手に届くところにあると、すぐに本を読みます。机の横に読書バッグをかけ、すぐに本を読める環境づくりにも取り組みました。さらに学校図書館を有効に活用できるように、子どもたちへの声掛け・働きかけを強化していきたいと思います。

⑦ 授業中、友だちや先生の話をしっかり聞いている。

⑧ 授業中、自分の思いや考えをしっかり話している。

今年度、目指す子ども像として「しっかり聞き、しっかり話す子」を掲げています。子どもたちは両項目とも9割。教職員は「大体できている」という回答がいちばん多いです。「あまりできていない」「できていない」が少なく、前期に比べると数値的にはあまり変わりません。「しっかり聞く、しっかり話す」ことは学習をはじめ、生活していく上で、基本となる大切なことです。基本となる事項なので、子どもたちが「大体できている」ではなく「よくできている」と胸をはって答えられるようにしたいものです。態度面に加えて、「内容を理解する」「話したい思い、考えをもつ」と言う力を、学習を通して、日常生活を通してこれからもしっかりとこの力をつけていきたいと考えています。

つながる・やさしい子



① 相手の気持ちを考えて行動している

前回に引き続き多くの児童が「よくできている」「大体できている」と回答しています。実際にたてわり活動や学校行事などの関わりを通して、大変優しい姿が見られます。今年から、たてわりで行う「にこにこそうじ」を始めました。また「にこにこタイム」では大縄とびを実施し、たてわり遊びの回数も例年よりも多くしました。その中で、高学年は低学年の子どもたちに優しく接し、また低学年は高学年の子どもたちを信頼しています。先日の6年生を送る会でも、1年生から6年生まで和やかな会ができたと思っています。この子どもたちの様子が、日常の学校生活でもさらに広がっていくようにしていきたいです。

しかしながら、わずかではありますが、依然として「あまりできていない」「できていない」と答えている子どもたちもいます。日頃から意識的に子どもたちと関わる時間を増やし、子どもたちの様子をしっかりととらえ、また気持ちも大切にしする必要があります。子どもたちの「何気ない一言や言動」に気を付け、四錦の子どもたちの素晴らしい姿をより伸ばしていきたいと考えています。

④いつも自分から声を出して笑顔でいさつを交わしている

子どもたちは多くは「よくできている」「できている」と答えていますが、「あまりできていない」と答える子も1割ほどいます。いさつについては、以前から教職員の中でも課題としています。「教室ではいさつする子が登校班の中では声が出ない」「いさつを返さない児童が多い」など、「自分から」「声を出して」の部分に課題があります。いさつの意味を考えることも大切です。またいさつをする方がかっこいいという意識がもてるよう、教師から粘り強く引き続き働きかける必要があります。すべてのことに言えることですが、しっかりとしたいさつができるように、教室の中でのあたたかい仲間づくりをより進めていく必要があると考えています。英語リッシャフライデー(English Friday)の英語でのいさつも、さらに有効にいさつの取組に活かせたらと思います。



⑥ 学校生活のルールを守っている

子どもたちの回答はあまり変わってはいないのですが、ほとんどはよくできている・大体できていると答えています。保護者の方の意識は、少し上がっています。実際には、大きく崩れているところ少ないので、細かなところでいくつか気になるところもあります。例えば、「廊下を走っている」「トイレのスリッパが揃えられない」「登校班がばらけている」「ボール遊びのルールが守っていない」など他にもたくさんあります。しかしながら、教師がその点に気付き、意識して取組を進めていくと、子どもたちもルールをしっかり守ってくれる姿があります。学校内外でのルールを守るために、自らが考え方行動できるよう、細かいところにまで、さらに教師が目を配り、温度差なく指導していきます。



元気な子

③ 手洗い・うがい・歯磨きをしている。

子どもたちの回答は前期とあまり変わらないのですが、よい回答が返っています。また教職員も特に、意識して手洗い・うがいに取り組ませていました。また、ご家庭での働きかけもあったのでしょうか、本校は比較的、風邪やインフルエンザによる欠席が少なかったようです。手洗い・うがいが風邪やインフルエンザに有効であることを、子どもたちが自ら理解し、今後も励行してくれることを願っています。

④ 早寝・早起きをしている

前期に比べると子どもの回答はあまり変わらないのですが、保護者の方は「あまりできていない」と答える保護者の方が増えています。アンケート実施が冬なので、布団から出にくい児童が増えたのでしょうか。生活見直し週間を中心に7時までに起きることを大切にしてします。睡眠不足は、健全な成長に影響を与えます。できるだけ早く寝られる工夫をお家でもお願いします。

「学校評価」へのご協力ありがとうございました。

「後期 学校評価の考察」は第四錦林小学校ホームページにも掲載しています。

平成28年度授業日と主な行事日程のお知らせ

前期後期の日程

前 期 4月 8日(金)から10月 7日(金)まで
後 期 10月11日(火)から 3月24日(金)まで

長期休業の日程

年度始 4月 7日(木)まで
夏 期 7月22日(木)から8月23日(火)まで
冬 期 12月23日(金)から1月 9日(月)まで
年度末 3月25日(土)より



主な行事

前期始業式・入学式	4月 8日(金)
修学旅行(6年)	5月26日(木)・27日(金)
休日参観	6月 5日(日)
花背山の家(5年)	6月20日(月)から6月23日(木)
みさきの家(4年)	8月25日(木)から8月27日(土)
休日運動会	9月24日(土)
卒業式	3月23日(木)
修了式	3月24日(金)



離任式のお知らせ

日 時 3月30日(水)午前8時45分より
登校時刻 登校時刻は、いつもと同じです。新班長の5年生(町によっては3・4年生)といっしょに登校してください。
場 所 体育館(学校に来たら、運動場で待ってください。)
持 ち 物 体育館シューズ
※卒業生も、都合がつけば、ぜひ来てください。

